

議第241号から議第258号まで

訴えの提起（裁判上の和解を含む。）について

訴えの提起（裁判上の和解を含む。）を次のように行う。

平成19年2月20日提出

京都市長 榊 本 頼 兼

次の表の相手方の欄に掲げる者は、それぞれ、同欄に掲げる市営住宅の入居者であるが、同表に掲げる月数分の家賃を滞納している。

このため、当該市営住宅の明渡し及び滞納家賃の支払について裁判上の和解を行い、又は当該市営住宅の明渡し並びに滞納家賃及び損害賠償金の支払について訴えの提起を行おうとするものである。

なお、裁判上の和解のうち、訴え提起前の和解については、相手方が滞納家賃の全額の支払を約束する場合に、支払方法に限り譲歩してこれを行うこととし、訴訟上の和解については、相手方が口頭弁論において当該市営住宅に居住し続ける意思を示し、かつ、滞納家賃の全額を一括して支払った場合に行うこととする。

| 議案番号 | 相手方 | 滞納月数 |
|------|-----|---------|
| 241 | | 11 月 |
| 242 | | 36 |
| 243 | | 31 |

| | | | |
|-----|--|--|----|
| | | | |
| 244 | | | 16 |
| 245 | | | 14 |
| 246 | | | 13 |
| 247 | | | 13 |
| 248 | | | 12 |
| 249 | | | 13 |
| 250 | | | 13 |
| 251 | | | 12 |
| 252 | | | 10 |

| | | |
|-----|--|----|
| 253 | | 13 |
| 254 | | 11 |
| 255 | | 12 |
| 256 | | 12 |
| 257 | | 13 |
| 258 | | 12 |

提案理由

訴えの提起（裁判上の和解を含む。）を行う必要があるので提案する。